



北海道では、平成20年7月に開催された「北海道洞爺湖サミット」を契機として、道民一人ひとりが地球温暖化防止に対する理解と意識を深めるための日として、7月7日を「北海道クールアース・デイ」と定め、7日を中心として全道各地で普及啓発を行っています。

道庁赤れんが庁舎では、家庭や職場などそれぞれの活動の場において、ローソクの光の中で、地球環境のこと、未来のことを静かに考えるきっかけとしていただくため、7月7日（月）に「赤れんがガイアナイト」を開催しました。



☆JALそらエコ教室☆

現役の機長により、小学校3～6年生とその保護者を対象に、操縦席から見える温暖化が進むアラスカの氷河の様子などの今の地球の様子や、JALが実践している二酸化炭素排出量削減などの取組をわかりやすく紹介する環境教室を開催しました。



☆キャンドル点灯式☆



約500個のキャンドルをレイアウトし、山谷副知事、加藤機長、札幌大谷大学芸術学部音楽学科の学生とともに、参加者の皆様と一斉にキャンドルを点灯しました。

☆コンサート☆

札幌大谷大学芸術学部音楽学科の皆さんに、「たなばたさま」など、ガイアナイトにふさわしいフルート四重奏による素敵な演奏をしていただきました。

